

## 山地災害危険地区について

### 山地災害はなぜ多い？

我が国では毎年約 2,000 箇所（平成 20 年～平成 24 年の 5 カ年の平均）もの山地災害が発生し、多くの被害をもたらしています。我が国で山地災害が多く発生するのはどうしてでしょうか？

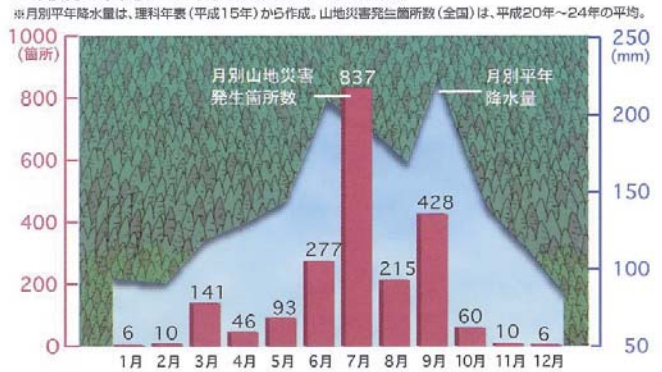
#### ◆災害の起こりやすい地形

我が国の国土は、険しい山が続く複雑な地形をしており、川は急流が多いという特徴があります。また、プレートの境界に位置し、地震や火山活動が活発なため、山崩れや土石流、地すべりなどの山地災害の危険を常に抱えています。

#### ◆災害の起こりやすい気象条件

我が国の年間降雨量は約 1,700 ミリ（世界平均の約 2 倍）で世界的にみれば雨の多い国です。特に梅雨期や台風の時などにはまとまった雨となり、大きな被害をもたらすほか、雪どけ期には河川の増水や雪崩などの危険も高くなります。

■月別の降水量と山地災害発生箇所数

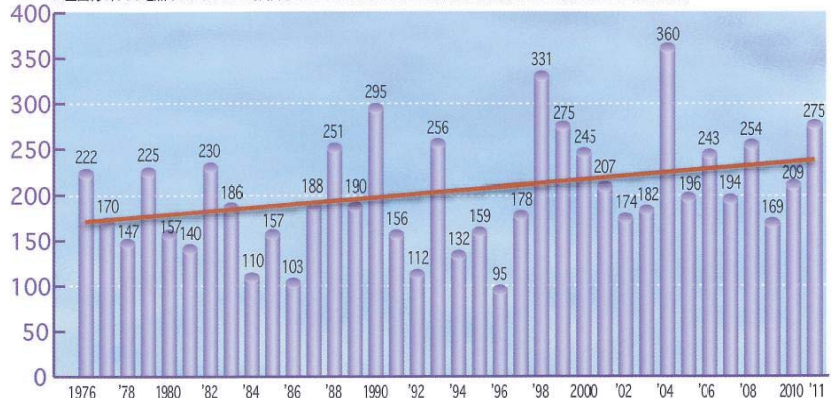


#### ◆局地的な集中豪雨の増加

さらに、近年では全国的に局地的な集中豪雨が頻発する傾向が強まっており、地域によってはこれまでにない甚大な被害が発生しやすい状況となりつつあるといえます。

■1時間降水量50mm以上の年間観測回数

※全国約1,300地点のアメダスで1時間降水量が50mm以上となった年間観測回数（1,000地点あたりの回数に換算）



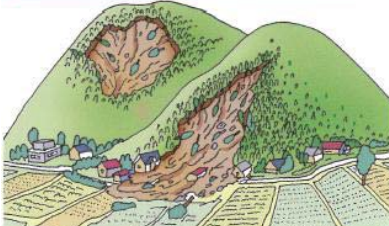


### 山地災害に備えるには！

#### ◆危険箇所を知ろう！

山地災害のおそれのある箇所がどこなのかを知っておくことは災害に備えるためにもとても大切です。身近に危険な箇所があるかどうか、日頃から市町の防災マップなどで確認しておきましょう。

## ◆山地災害危険地区

山地災害危険地区とは、過去の山地災害の発生状況や地形・地質、植生状況等の条件により、統計的に森林の状態を評価し、崩壊や土砂流出等の危険が高いと考えられる箇所のうち、人家、道路など保全対象への影響が大きい地区を示したもので、災害の形態によって3種類に区分されています。

山くずれが起りやすいところ	地すべりが起りやすいところ	土石流が起りやすいところ
 <ul style="list-style-type: none"> <li>●山の斜面に亀裂やわき水がある</li> <li>●岩石がもろく、くずれやすい地質である</li> <li>●過去に山くずれがあった</li> <li>●山くずれがあった場所に隣り合っている</li> <li>●急斜面で、軟弱な地盤がある</li> <li>●水の集まりやすい斜面地形である</li> <li>●ときどき落石がある</li> </ul> <p><b>【山くずれ】</b> 雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が突然くずれ落ちる現象です。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている</li> <li>●わき水や地下水が豊富である</li> <li>●断層や、もろく、くずれやすい岩石がある</li> <li>●火山や温泉の影響で粘土化した土がある</li> </ul> <p><b>【地すべり】</b> 地下水などの影響により、粘性土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象です。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●溪流が急である</li> <li>●溪流に大きな石やたくさんの土砂がある</li> <li>●上流が山くずれなどで荒れている</li> <li>●過去に土石流があった</li> </ul> <p><b>【土石流】</b> 山の斜面が崩れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水と一緒一気に下流に押し流される現象です。</p>

### ①「山腹崩壊危険地区」

山腹崩壊による災害(落石による災害を含む。)が発生するおそれのある地区。

### ②「地すべり危険地区」

地すべりによる災害が発生するおそれのある地区。

### ③「崩壊土砂流出危険地区」

山腹崩壊または地すべりによって発生した土砂または火山噴出物が土石流となって流出し、災害が発生するおそれのある地区。

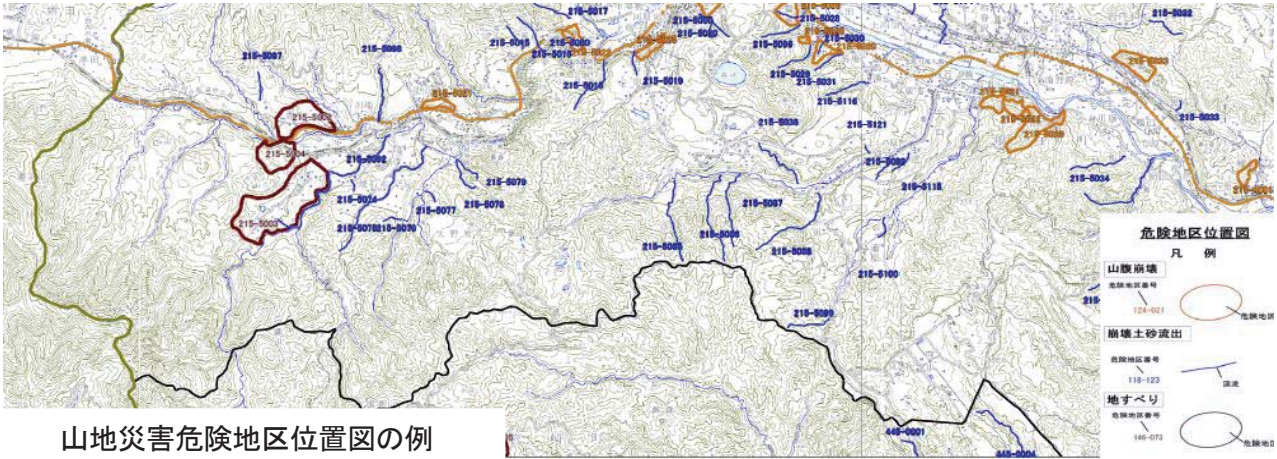
大崎管内の山地災害危険地区

市町	山腹崩壊危険地区		地すべり危険地区		崩壊土砂流出危険地区		計	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
大崎市	69	240	5	170	173	346.1	247	756.1
色麻町	—	—	—	—	7	11.5	7	11.5
加美町	15	64	6	234	106	176.3	127	474.3
涌谷町	—	—	1	11	19	45.4	20	56.4

県では、山地災害危険地区の指定箇所および位置図をホームページで公表しています。

宮城県ホームページ>組織でさがす>農林水産部森林整備課>みやぎの治山  
>トピックス>山地災害に備えて>山地災害危険地区の指定箇所

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/kikentiku.html>



山地災害危険地区位置図の例

### ◆市町の防災計画等との連携

山地災害危険地区は、県土木事務所所管の急傾斜地崩壊危険箇所や土石流危険渓流などとともに、市町の地域防災計画に土砂災害危険箇所として位置付けられており、市町との連携のもと、住民の土砂災害に対する認識を高め、円滑な警戒・連絡・避難等の体制整備を図るために役立てられています。

### ◆山地災害の危険信号

山地災害が起こる場合、事前に山の斜面や川の流に危険信号と思われる変化が現れることが多くあります。

特に次の8つの危険信号に注意し、危険信号と思われる変化を確認した場合には、速やかに避難と関係機関への通報をお願いします。